

病院からご自宅に帰る際にふさわしいチャイルドシート

- 乳児は骨格等が未発達のため、頭部から背中にかけて体全体で支えられるように「乳幼児チャイルドシート」を使用します。
- 乳幼児チャイルドシートは後ろ向き、または横向きに取り付けます。

① 乳児専用

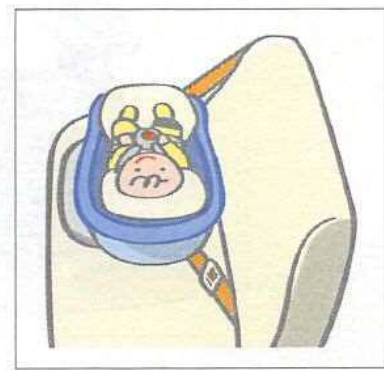
乳児期は首が据わっていないため、寝かせるタイプになっています。後ろ向きに使用する「シートタイプ」と横向きに使用する「ベッドタイプ」があります。赤ちゃんを乗せたまま車に乗せ降ろしができるのが特徴です。



後ろ向き取り付けタイプ
● 2点固定式



後ろ向き取り付けタイプ
● 3点固定式



● 横向き取り付けタイプ

引用元：日本交通安全教育普及協会 研修会テキスト「チャイルドシートの基礎知識」

② 乳児用・幼児用 兼用タイプ

兼用タイプは、使用時期によって装着の仕方や使用方法が異なりますので、お手持ちのマニュアルをよく読んで正しく使用しましょう。



乳児（新生児～1歳くらい）に使用するとき



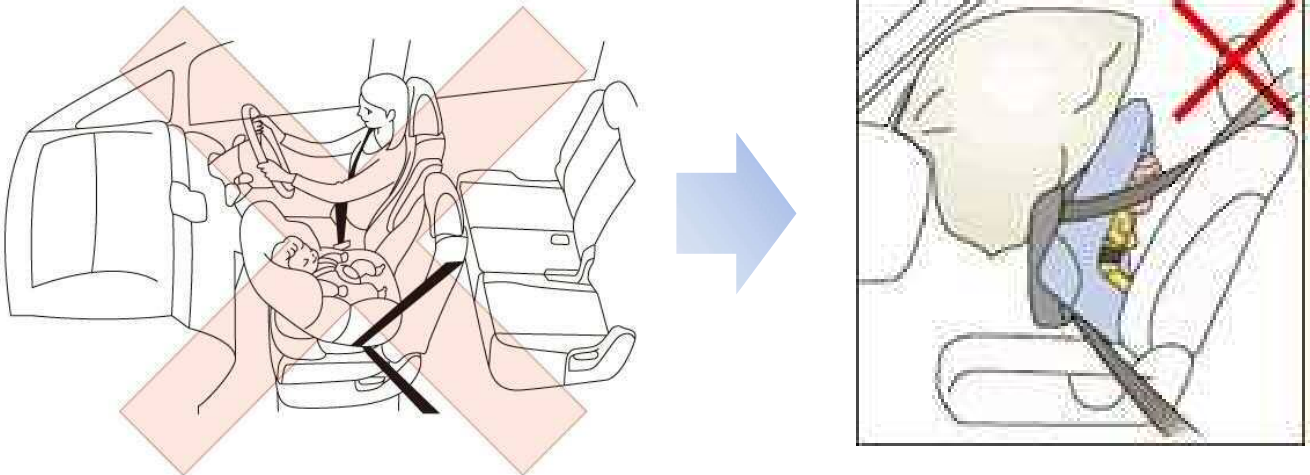
幼児（1歳～4歳くらい）に使用するとき

引用元：日本交通安全教育普及協会 研修会テキスト「チャイルドシートの基礎知識」

チャイルドシート取り付け位置

※ 一般的には後部座席が優先です。助手席は避けましょう。

- 助手席のエアバッグは、子供にとって危険です。
- 助手席よりも後部座席のほうが、事故による致死率が低くなります。
- 運転中に子供が気になって、わき見運転をしてしまいがちです。



○エアバッグ付きの助手席に後ろ向きの取付けは厳禁。

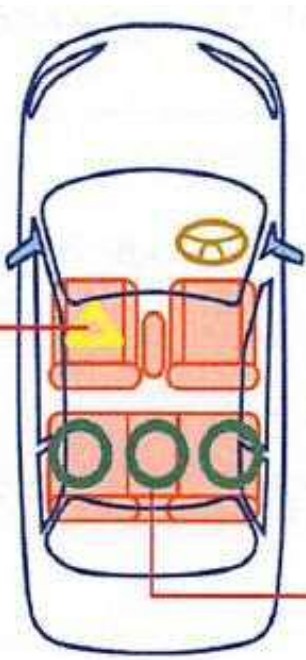
○前向き取付けの場合には、シートを出来るだけ後ろに下げること。

△警告

この製品は、エアバッグ装備の座席では使用しないでください。死亡または重傷を負うおそれがあります。

このように表記されている製品もある。

シートの形状及び、座席ベルトのタイプにより安定した固定が困難なケースが多い。



引用元：日本交通安全教育普及協会 研修会テキスト「チャイルドシートの基礎知識」